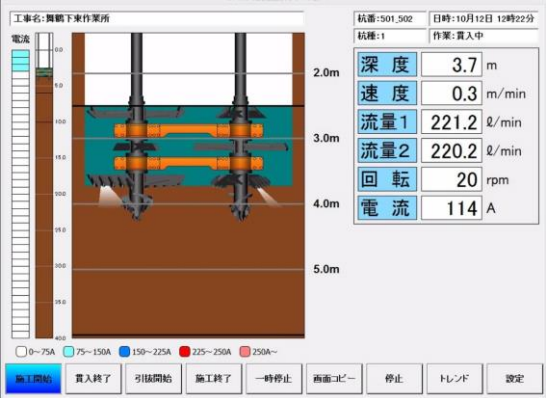


令和3-4年度原ヶ崎地区耐震対策工事

- 堤防の耐震対策工事において、地盤改良工(スラリー攪拌)の施工に際し下記の技術を活用した。
 - ①施工状況を可視化し、施工履歴・施工状況をリアルタイムかつ遠隔でも確認できるシステム(Visios-3D)
 - ②地盤改良施工機本体とスラリープラントの自動運転システム(GeoPilot-AutoPile)
 - ③ARにより打設位置をモニターに表示する技術(Visios-AR)
- 従来の施工方法と比較した結果、日当たり作業量が約56%向上する効果があった。

【取組概要】

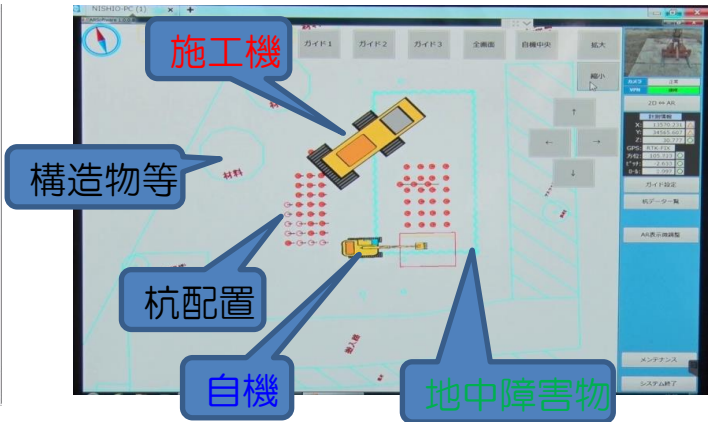
①Visios-3D



②GeoPilot-AutoPile



③Visios-AR



【有効性】

■地盤改良工の
日当たり施工量が
約56%向上

従来工法 280m3/日
ICT工法 436m3/日

■目杭の設置作業等の
省略や現場に配置する
誘導員等の削減が
可能となり
安全性が向上

自動化項目一覧	
打設制御	
1	電動オーガーモーターの回転制御 (正転／逆転)・(高速／低速)切替
2	攪拌軸の貫入／引抜／速度制御
3	改良杭の先端処理
プラント制御	
4	ポンプの流量調整
5	プラントの状態監視
安全制御	
6	主巻ワイヤーの緩み防止
7	リーダー／本体の傾斜監視
8	ステーストローク長の差分監視